

いもぎき

議会だより

第104号
2019 令和元年7月25日



6月臨時会・定例会

もくじ

新議会人事決定!!	2
令和元年度補正予算	4
全員協議会	6
一般質問(7人が町政をたず)	8
議会モニターとの意見交換会	16

はつらつと健康的に

議会だより
QRコード



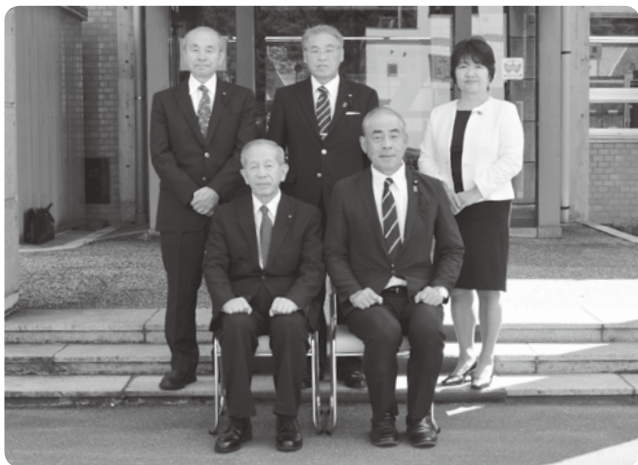
副議長及び各委員会の人事構成

議会人事において、委員会は任期2年で満了、副議長は申し合わせにより2年で交代します。

(敬称略 ◎委員長 ○副委員長)

社会産業常任委員会

町民課所管の国保・介護・後期高齢者医療の保険料賦課徴収、国民年金、環境衛生、保健福祉課、産業観光課、建設課の所管する事務調査並びに、議案、陳情等の審査を行います。(任期2年)



高橋速円 加藤修三 高桑佳子
◎三輪正 ○安達一雄

総務文教常任委員会

議会事務局、総務課、出納室、教育委員会、選挙管理委員会、監査委員及び固定資産評価審査委員会、町民課(社会産業常任委員会の所管事項除く)の所管に関する事務調査並びに、議案、陳情等の審査を行います。(任期2年)



仙海直樹 諸橋和史 中川正弘
○小黑博泰 ◎中野勝正

議会報特別委員会

定例会を中心に、年4回議会だよりを発行し、議会広報の役割を果たします。(任期2年)



三輪正 小黑博泰 中野勝正
◎高桑佳子 ○安達一雄

議会運営委員会

議案、議会運営、議会の会議規則、議長の諮問事項などについて調査します。(任期2年)



三輪正 ○中野勝正 ◎諸橋和史 中川正弘

副議長就任の 挨拶

副議長 高桑 佳子

この度、6月臨時会におきましてご推挙をいただき、副議長に就任いたしました。その職責の重さに、身の引き締まる思いであります。第1期「まち・ひと・しごと総合戦略」が最終年度を迎え、令和2年度に始まる第2期の計画策定も始まりました。出雲崎町が魅力ある町であり続けるためには、町議会において全議員が一丸となつて、諸問題の解決に取り組む、町の将来にむけて考え、行動していかなければならないと考えます。

私も議長を支えながら、町民の皆さまにとって身近で開かれた議会を目指し、また、町政発展のために誠心誠意努めてまいります。

今後とも、町民の皆さまのご支援ご指導をお願い申し上げます。副議長就任の挨拶いたします。

5月臨時会

会期 5月13日 (1日間)

5月臨時会では町長専決処分による、一般会計補正予算、条例の一部改正など議案6件が提出され、慎重審議の結果、いずれも原案のとおり全会一致で可決、承認しました。

平成30年度一般会計補正予算 (第7号) (専決)

(△は減額)

会 計	補正額	補正後の予算額
一 般 会 計 (第7号) (専決)	4,251万円	33億9,878万円

主な歳入

- ・地方交付税追加 (特別分) …… 5,781万円
- ・ふるさと納税寄附金追加 …… 98万円
- ・財政調整基金繰入金減 …… △1,628万円

主な歳出

- ・ふるさと出雲崎応援基金積立追加 …… 98万円
- ・減債基金積立 …… 4,152万円

平成31年度一般会計補正予算 (第1号) (専決)

会 計	補正額	補正後の予算額
一 般 会 計 (第7号) (専決)	994万円	32億9,794万円

主な歳入

- ・プレミアム付商品券事業費補助金 …… 972万円
- ・前年度繰越金追加 …… 21万円

主な歳出

- ・プレミアム付商品券事務費補助金他 …… 972万円
- ・かっつりレーマラソン (5月1日開催) 経費 …… 21万円

物品購入契約の締結について 可決

除雪ドーザ(11トン級)契約金額 1,563万円 (コマツカスタマーサポート株式会社関越カンパニー)

承認した条例改正 (専決)

- ◆町税条例等の一部改正…地方税法等の一部改正によるもの。
- ◆町国民健康保険税条例の一部改正…地方税法施行令等の一部改正によるもの。
- ◆町介護保険条例の一部改正…介護保険法施行令及び介護保険の国庫負担金の算定等の一部改正によるもの。

6月臨時会

会期 6月10日 (1日間)

6月臨時会では閉会中の継続調査の結果、繰越明許費繰越計算書の報告がありました。また、副議長の選挙や各委員会の構成、正副委員長等の決定も行われました。

調査報告

社会産業常任委員会

5 / 23



社会産業常任委員長
加藤 修三

当委員会が閉会中の継続調査と致しました「産業と観光問題」について、米田遊歩道の現地調査を行いました。夕映えの丘を含む米田遊歩道は、木材で補強した崩れた斜面、朽ち果てたベンチ、文字が薄れた案内板、景観が見えないほどの雑木、木々も大きくなり遊歩道からの展望も見えにくく、よい景観を撮るため、枝木をロープで排除し、ロープは撤去されない状態でした。米田遊歩道については、人通もなく安全面、景観維持管理を含め縮小が検討されました。

今後は、良寛と夕日が丘公園の整備強化し、出雲崎町の景観で感動と癒しを実感してもらえる魅力ある町づくりで、交流人口の拡大と町の活性化を目指す必要との結論に達しました。

事業強化!!

6月定例会で可決した補正予算

(△は減額)

会 計	補正額	補正後の予算額
一 般 会 計 (第2号)	4,249万円	33億4,043万円
特別会計 国民健康保険事業 (第1号)	△ 373万円	5億8,326万円
簡易水道事業 (第1号)	2,100万円	1億9,880万円
下水道事業 (第1号)	22万円	1億5,812万円

一般会計補正予算 (第2号)

(△は減額)

主な歳入

- ・子ども子育て支援臨時交付金追加 ……908万円
- ・子どものための教育保育給付費負担金追加
……………908万円
- ・コミュニティ助成事業交付金 ……250万円
- ・小木之城保育園の改修事業の交付金 …1,122万円
- ・保育所保育料減 ……△759万円

主な歳出

- ※1・ふるさと交流住宅「舂太さん」消耗品等 …110万円
- ・総合戦略策定関連経費……………93万円
- ※2・歴史や五郎兵衛関連経費 ……153万円
- ・コミュニティ助成事業 (川西集落) ……250万円
- ・町新生活スーパー住まい取得
リフォーム支援補助金追加8件分 ……817万円
- ・町有建物除却工事 (2件) ……373万円
- ・日本遺産認定関連経費……………67万円

簡易水道事業特別会計補正予算 (第1号)

主な歳入

- ・前年度繰越金追加……………50万円
- ・運営準備基金繰入金 ……520万円
- ・米田地区県補償工事費追加 ……141万円

主な歳出

- 米田地区
配水管移設工事請負費 ……1,900万円
- 同委託料 ……190万円

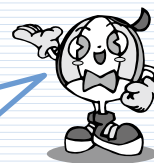
教えて 定 例 会



※1

ふるさと交流住宅
「舂太さん」とは?

町へ寄付された旧内藤医院の建物で、新潟大学
学生の活動拠点と地域おこし協力隊員の宿舎とし
て整備するんだよ。



※2

歴史や五郎兵衛
とは?

羽黒町の旧高島履物店の建物で、町の宝物事業や
寄付された物品を展示するんだよ。関連経費は、
修繕費や建物管理の謝礼として使われるんだよ。



空き家活用スタート

地域活性化

補正予算質疑

主な質疑内容を掲載します。

6月19日

ふるさと交流住宅の消耗品 52万円

小黒議員 追加の内容は、
総務課長 宿泊する学生用に30組の寝具等の購入を考えている。

日本遺産認定記念講演会来場記念品 10万円

小黒議員 記念品は何を考
えているか。
教育課長 サザエの炊き込みご飯の素を100名限定で配付する。

ふるさと交流住宅(舂太さん)の住環境 56万円

高橋議員 インターネットは全室使用可能か、エアコンは2台で対応可能か。
総務課長 インターネットは全室使用可能。冷暖房は全部屋冷暖房が完備されており、そのうち2台が作動しないので、入替をする。

中山間地域等直接支払制度調査業務委託料 36万円

中野議員 現在何集落が携わっているか、また、どの集落が申請されたのか。更新の期間は何年か。
産業観光課長 現在13集落で、

今回は吉水集落が追加され、更新の期間は5年である。

幼児教育 保育無償化について 648万円

高桑議員 0〜2歳の幼児の住民税非課税世帯は何名が対象か。
子ども未来室長 2名が対象である。
高桑議員 保護者から実費で徴収している負担金があるわけだが、町でも考慮してもらいたい。

バス回数券購入費 19万円

三輪議員 バス回数券販売の収入支出と取り扱い方法はどうか。
総務課長 町は20万円分のバス券を越後交通から19万円で購入する。陽だまりで販売し、手数料として10%を支払う。

歴史や五郎兵衛のカーテン 10万円

中川議員 10万円公有財産に計上してあるが備品購入費ではないか。
総務課長 建物に直接設置して、常時取り替えないものは公有財産になる。

可決した条例改正

■ 町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正

特殊勤務手当の支給対象とする家畜伝染病について、現行の口蹄疫、高病原性鳥インフルエンザ等の他に、「その他町長が別に定める家畜伝染病」を加える。

決議

議会報特別委員会の委員を増員する決議

議会報の充実を図るため、委員定数を4名から5名に増員するもの。

議会のつぎ (主なもの)

平成31年4月〜令和元年6月

4・4 議会報特別委員会 (議会だより第103号)

11 議会報特別委員会 (議会だより第103号)

18 第4回全員協議会 ↓詳細はp6

5・7 議会運営委員会

13 第2回町議会臨時会 ↓詳細はp3

23 出雲崎町議会モニター意見交換会 ↓詳細はp6

28 第44回議長・副議長研修会 (東京都)

6・31 新潟県町村議会議長会第1回臨時総会 (新潟市)

10 第3回町議会臨時会 ↓詳細はp2〜3

1912 議会運営委員会

10 第4回町議会定例会召集日 ↓詳細はp4〜5

20 議会報特別委員会 (議会だより第104号)

21 社会産業常任委員会

24 総務文教常任委員会

24 議会運営委員会

24 定例会最終日

24 第6回全員協議会 ↓詳細はp7

陳情第7号

陳情

「新たな過疎対策法の制定に関する意見書」の採択に関する陳情

新潟県過疎地域自立促進協議会から特別措置法が令和3年3月末に失効することから引き続き総合的な過疎対策が充実強化されるよう町議会からも国会並びに関係省庁に意見書の提出をお願いする。

審査結果

採択

可決された意見書

発委第1号

総務文教常任委員会にて審議をし、新たな過疎対策法の制定を強く要望するため地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

議決結果

原案可決

全員協議会

主なものから抜粋して掲載しています

第4回 4月18日

地域おこし協力隊について

総務課長

今年度、地域おこし協力隊を採用したい。募集要項を、町ホームページおよび地域おこし協力隊の募集サイトに掲載したい。

新潟県Uインターンフェアに、ブースを出展する予定。適任者がいれば事前の体験プログラムをしてもらい、遅くとも7月には採用したい。任期は1年間で、最長3年まで延長可能である。今年度は非常勤特別職として採用する。

中野議員

地域に密着する方なので、5時以降の会合等にも出てもらいたい。その辺の手当はどうなっているのか。

加藤議員

昨年のインターン生は効果があった。SNS等で情報発信に努めてほしい。

高橋議員

一人の採用予定で、2人に増やす考えはないか。

総務課長

夜間の会合等も想定できることから、非常勤特別職とし、時間外勤務手当は支給できない。

SNS等の情報発信等のノウハウを持った方を採用したいと考えている。現在の予算上は、1人の採用であるが、複数人の採用になるかは、今後の状況を見極めたい。

デマンド交通運行費補助金算定方法の変更について

総務課長

運行1回に要した時間に応じて算定するデマンド運賃は



旧内藤医院宅

旧内藤医院寄附物件について

総務課長

診療用の部分については除去して、駐車場にしたいと考えている。建物や蔵等などについては、大学等が学外で行う研究活動の拠点として活用

プレミアム商品券事業について

産業観光課長

10月に消費税が引き上げられることによる影響の緩和と、消費の下支えのため、低所得者や子育て世代にプレミアム付き商品券を発行・販売するものである。財源は全額国費で交付される予定である。

「かつとび日本列島横断リレーマラソン」について

教育課長

4月30日に神奈川県江ノ島をスタートしリレー方式でバトンを繋ぎ、良寛記念館をゴールにして、5月1日2時半に到着予定で、ゴール後はセレモニーを実施する予定。国の指定天然記念物である薄墨桜を、町に寄贈いただき、植樹も行う。



かつとびマラソンゴールの良寛堂前（5月1日）

第5回 5月13日

出雲崎町 まち・ひと・しごと 創生総合戦略について

総務課長

今年度で第1期が終了するので、今年度中に第2期5年間の総合戦略を作成したい。30名程度の推進協議会を構成していきたい。まち・ひと・しごと創生総合戦略は人口ビジョンがメインとなっているが、現段階でのビジョンを再検証する。

松本ひがし回地の 申し込み状況について

建設課長

現在までに4世帯の申し込みがあり、全世帯が小中学生を扶養されている若い世帯である。申込者は、ひまわりハウス1件、長岡市から2件、上越市から1件である。

北前船日本遺産登録 認定について

教育課長

文化庁が認定する北前船の日本遺産登録が、今週中に認定される。5月31日には追加の7自治体に、認定証の交付



日本遺産認定記念講演会（7月7日）

が行われる。町としては、認定発表後、広報紙や報道などで、PRしていきたい。垂れ幕やのぼり旗を作成し、日本遺産登録をされたことを周知する。

三輪議員

先人が残した大切な遺産なので、いかに活かしていくかが大事になるが、どう考えているか。

教育課長

認定を受けただけでは意味がない。今回、教育課が先陣を切って、展示会や講演会を行う。町内で北前船に関する文化財を廻るようなルートを作成し、PRしていきたい。

第6回 6月24日

デマンド交通 「てまりん」の 利用状況について

総務課長

運行本数は4月69便、5月97便で、1日あたりの利用者平均は4月4・2人、5月5・4人であった。毎月、関

係者で定期会議を行い、検討会で改善を図っている。子育て世代の利用促進として、小中学生や乳幼児を対象に無料券のカード作成なども挙がっている。

出雲崎交通の事業内容に変更がある場合は、直ちに報告する確約をとつてある。

加藤議員

出前説明会は有効であったし、運転手のマナーも良い。プラス面の意見はあるか。

三輪議員

電話受付は時間を過ぎると出ないときいたが、融通をきかせてほしい。

小黒議員

無料券の発行は良いと思う。多く利用される方に対しても検討して、周知されると良いと思う。

総務課長

担当者会議で、改善する方向での意見をまとめたが、プラス面での話も聞かれた。受付対応は不都合がないように申し出たい。無料券についても利用率が上がるように対応していきたい。

漁業者の廃業に伴う 海辺の復旧について

加藤議員

尼瀬地内マリクラブ横の6軒ほどあった船小屋が、今は漁業者1人1棟だけになった。漁業をやめたところは、栈橋やコンクリートで固めた浜辺がそのまま残っており、イメージダウンではないか。海辺の原状復旧、または継続のための施策が必要だと思う。

産業観光課長

現地を確認し、年数が経ち、単管だけのところもある。占用手続きを取っておらず、法律的な問題もある。本来設置者が撤去するのが原則であり、町が肩代わりできないので、お困りの方がいれば、業者を斡旋するなど裏側

から支援をする。地元の方に説明して行きたい。

中学校スクールバスの 検討時期について

小黒議員

3月定例会の一般質問では、「早急に検討する」との答弁があった。早急にということ、即実行に移ってもらえるものと考えたが、まるで進んでいない。検討時期はいつ頃になるか。

教育課長

1回目の検討会に向けて、運行パターンを作成している。7月始めに検討会を行い、意向調査をする。利用者が少なければ運行しない選択肢もあるが、8月の全員協議会で実施案を示し、11月から実施したいと考えている。

お知らせ

議会では、議長を長として、「議員のなり手不足検討会」を立ち上げました。3期連続の無投票選挙を防ぐため、現状での改革提案や将来に向けたビジョンをあらゆる角度から検討してまいります。皆様のご意見もお聞かせください。今後検討会の進捗状況をお知らせしますので、ご注目ください。

令和元年初 一般質問



～我が町政を問う～

<p>4</p>  <p>加藤修三 議員</p> <p>質問項目</p> <ol style="list-style-type: none">1. 湧水対策2. 日本遺産認定を機に活性化した町づくり	<p>3</p>  <p>小黒博泰 議員</p> <p>質問項目</p> <ol style="list-style-type: none">1. 町助成金・補助金事業について2. 町長選について	<p>2</p>  <p>諸橋和史 議員</p> <p>質問項目</p> <ol style="list-style-type: none">1. 当町のブランド米について	<p>1</p>  <p>三輪 正 議員</p> <p>質問項目</p> <ol style="list-style-type: none">1. 高齢者等の自動車運転安全対策について2. 学校、保育園の交通安全対策について
---	--	--	--

<p>7</p>  <p>仙海直樹 議員</p> <p>質問項目</p> <ol style="list-style-type: none">1. 空き家対策について2. 不登校対策と子どもたちの学力向上について	<p>6</p>  <p>安達一雄 議員</p> <p>質問項目</p> <ol style="list-style-type: none">1. 八手地区ほ場整備完了後の取り組みについて2. 竹林の活用方法について	<p>5</p>  <p>高橋速円 議員</p> <p>質問項目</p> <ol style="list-style-type: none">1. 究極の町六次産業化策(提言)
---	---	---



三輪 正 議員

高齢者等の運転安全対策を

安全対策を推進する

町長

サポカー購入に補助を

三輪 連日、高齢者運

転の事故が報道され、運転免許返納、安全運転サポート車（サポカー）購入時の補助などの動きがある。町民がこの地域で安心安全に暮らしていただけるように町は対策を考えるべきである。具体的に次の3点について伺う。高齢者の安全サポート車購入時補助について伺う。

一時的運転困難者にタクシー券の支給を

町長 国は免許返納、自動ブレーキ車など種々検討している。国の動きを見て判断する。

三輪 福祉タクシー券は4月より拡充されたが、怪我や目の手術等で一時的に運転が困難な方

に支給できないか伺う。

町長 怪我等で一時的に運転が困難な方には相談に応じている。今後は制度の見直し等を考える。

妊産婦の方にタクシー券を

三輪 妊産婦で運転に支障がある方にタクシー券の支給ができないか伺う。

町長 子育て関連については種々の支援をやっている。タクシー券支給については第2期総合戦略で検討する。

※サポカー

(安全運転サポート車)

衝突しそうな時に車を止める「自動ブレーキ」や、アクセルとブレーキを踏み間違えた際に、急発進を防ぐ装置などを持つ車

学校、保育園の交通安全対策は万全か

町長

安全対策に万全をつくす。

自転車通行の安全対策を

三輪 通学、通園途中の事故が多発している。関係者が連携して事故防止に努めるべきである。

中学生より通学途中の自転車事故防止の要望があつた危険個所のチェックと関係者の横の連携が必要と考える。また、自転車の歩道使用についてもルールを作り周知すべきであるが。

町長 通学路の安全については合同点検等しっかりと対応していく。

保育園にキッズゾーンを

三輪 保育園周辺の道路に「キッズゾーン」を



保育園に必要な交通安全対策を（小木之城保育園）

設定して園児の安全を確保すべき。特に県道に面した「小木之城保育園」は急ぐべきと考えるが町の考えを伺う。

町長 道路管理者（県）、保育園、町の関係者で協議する。

出雲崎町のブランド米について



諸橋 和史 議員

町長

町のブランド米づくりに励む

今後の商標について

【諸橋】 2月の全員協議会で地域ブランド米の方向性が示されたが、今年発足した美味しいお米追求会議を受けて再度現在の状況を伺う。

商標登録について、汐風米は問もなく期限がきれるが今後どうするか、またブランド米については、商標登録は取得するのか愛称にとどめるのか伺う。

【町長】 美味しいお米追求会議は2回行っている。3回目で具体的な事を決定していく。この会議で研究し、現在はまだ決定していない。

ブランド米の基準は

【諸橋】 汐風米は大変良い商標と思われる。ブランド米の食味、減減については明確に基準を設け

ているのか。たんぱく質、アミノ酸、水分等は基準を設定していくのか伺う。

【町長】 ブランド米の食味、タンパク等7割5割減減については諸橋議員の意向をうけながら検討する。

ブランド米の作付面積は

【諸橋】 町の作付面積は、昨年320ヘクタールで、その内コシヒカリの面積は184ヘクタールである。ブランド米の作付面積は町としてどのように町長は考えているのか伺う。

【町長】 適地適作が町はいかに良い米を作るか現在の耕作地を守っておいしい米を作るか、国県の政策にもよるが、わが町は美味しい米を作っていきたい。

販売経路の確保は

【諸橋】 販売確保は出来ているのか。集荷施設をどうするのか。また、1俵当たり価格は幾らを想定しているのか。農家価格、小売価格等があると思うが、考えを伺う。

【町長】 儲かる農業を農家個人が判断し、最終的に良い方向を見つけて決めていきたい。



美味しいお米を作りたい（溝切り作業）

町助成金・補助金事業の周知を



小黒 博泰 議員

様々な方法で周知を図る

町長

町助成金・補助金事業について

小黒 町の助成金・補助金事業は、様々な分野で実施され、利用者も多くいる。しかし、助成金・補助金事業が分らない方、申請手続きが複雑でわかりづらい、申請が面倒などの理由で利用されない方がいるのも事実である。そのような方に対して、行政の対応や考えについて伺う。

事業実施の基本的考えは

法令・規則等により、適正に実施
小黒 町助成金・補助事業の実施にあたっての、基本的な考えを伺う。

町長 地方自治法により、公益上必要がある場合に於いて補助する事ができる。

対象となる事業は、事業の目的・内容が明確であり、内容に公益性が認められる事業、経費が妥当である事業、その他の団体や町民との間で、公平が保たれる事業などであり、これに該当する事業に対して議会の議決を

得て執行している。補助金は、納付された税金で配分するので、実施にあたっては、法令や交付規則等により適正に行われる必要があると考える。

小黒 助成金・補助金制度の事業予算を確保しているのに、利用されないのは残念である。町民や地域、組織の負担の軽減、地域の発展や活性化を図るために制度があると考えるが、町長の考えは。

町長 その通りである。目的は、町全体の活力につながる総合的な判断に基づく交付金である。

制度の町民への周知方法は

様々な方法で周知を図る
小黒 制度の対象が特定される方には個々に周知できるが、その他の町民への周知方法の考えを伺う。

町長 回覧や冊子、一覧表を作成し配布してきたが、利用者が少ないのは事実である。

制度を活用していただくために、全力を尽くし、周知徹底を図り、多

くの方に利用していただくように努める。

ホームページの改善を

速やかに実行したい

小黒 ホームページトップに助成金・補助金のバナーを作成し、利便性の向上と周知、町外の方への取り組みを知ってもらうためにも、改善を提案するが、考えを伺う。

総務課長 町ホームページは、より分りやすく、魅力あるものになるよう、日々改善を重ねている。貴重な意見なので、検討し、速やかに実行に移して行きたい。



新規園芸施設事業補助金の利用施設

町長選についての政策の具体的な考えは

小黒 町長選について

昨年12月にも一般質問したが、新聞報道で9期目の出馬を表明した。その中で、「あらゆる課題に取り組むため、気持ちを新たに挑戦する決意をした」とあるが、具体的な考えを伺う。

町長 改めて8期32年間、大過なく今日を迎えている事に対し、町民皆様の指導と力添えをいただいた事に、感謝する。長期政権に対する批判もあるが、一期一期初心に立ち返り、町民の立場に立つて誠心誠意努めてきた。あらゆる課題があるが、看板を掲げ政策をするつもりはない。日々の積み重ねを大事にし、様々な課題に取り組んでいく。

小黒 何かしら、考えはないのか。

町長 あえて問われるなら、若い世代の人たちが町に何を期待するのか。若い人達の意欲をかき立て、その気持ちを受け止めて、政策を進める事が大事と考える。若い人達が夢を持てる町づくりに挑戦したい。

昨年夏の 農業用水不足を考へて



加藤 修三 議員

町長

その時々で状況で対処する

加藤 昨年の空梅雨、夏の高温少雨により農業用水が不足し、農作物に被害が出たが、昨年の状況を踏まえた渇水対策について

加藤 稲の生育で特に水が必要な出穂期の7月は、記録的猛暑と24日間も雨が降らなかつた。出穂期に全く水がない田んぼでは、稲が枯れたり葉がまいたりする被害が出たところもあり、水が必要な時に供給できる河川など水源確保できる環境整備について伺う。

加藤 渇水による稲作の被害を最小限に抑える努力をする

町長 昨年もいろいろ対応した。あらゆる状況を想定し、その時々の問題に対応し、地域の要望にも対応しながら、出来るだけ渇水による稲作等々の被害を抑えるきめ細かな努力をする。

加藤 天水対応で美味しい出雲崎産米品質は、天候条件の悪い中でも、1等米比率90%以上を維持している。町のおいしいお米追求会議では、魚沼産米等いくつか食べ比べし美味さは遜色なく、むしろ当町米がおいしいとの評価もあつた。渇水問題も解消し、当町の美味いお米を皆さんに食べていただくためにも、維持向上する考えを伺う。

町長 美味しいお米づくりの基本は水であり、水の確保はできる限り努力する。



稲作に必要な農業用水

日本遺産認定された町として

町長

当町の素晴らしい歴史、文化を発信していく

加藤 当町は日本遺産「荒波を超えた男たちの夢を紡いだ異空間く北前船寄港地」に認定された。これを起爆剤に活性化した町づくり構想について伺う。

町長 認定された素晴らしい文化を伝えるために、ストーリーを作り関係する市町と連携し出雲崎の文化、歴史を総合的に発信していきたい。

加藤 日本遺産に認定された地域の歴史的魅力の有形・無形の文化財の紛失劣化防止など保存維持管理について伺う。

町長・教育課長 文化財の中には個人、集落のものもあり、大事に保管してもらおう為にも、町として保全に関わる助言や協力

加藤 日本遺産構成文化財とつながる街並みの休業飲食店や、今回で終わる出雲崎おけさ全国大会の復活で、交流人口の拡大の考えを伺う。

町長 店の復活に対して妻入り再生の関係の中で関係者に働きかけていきたい。



日本遺産構成文化財の出雲崎おけさ



高橋 速円 議員

究極の町 6 次産業化策を 提言する

町長

町が主体となることはきびしいが、 可能な限り協力する！

出雲崎版「総合商社」
を起こせないか!!

高橋 出雲崎町には量は少ないかもしれないが、優れた一次産品がある。売り込むにはいろいろな形があるが、町が主体となつて組織を立ち上げ、買い上げ、加工し、販売するというものだ。

これまで出雲崎町は縦割りです。各課中心で施策がためされてきた。今回提言するのは縦割りではなくて各課横断の「総合商社」だ。

生産者には町が買い上げ、買い支える、つまり保証し、守る。そして産品を加工することで付加価値を高める。この加工が生命線です。この出来如何が雌雄を決するが、それを町の空き家、空き店舗など最大限活用して地域の活性に繋げる。

要は町の信用と住民の



今年のさかなまつりの様子

活力、アイデアを活かす。この仕組みが問題だ。この仕組みづくりを具体化できないか、町長の所見を伺う。

町の認識が厳しいことは承知している。出来ないといつたらいつまでも出来ない。いつまでもなにもできない町で終わる。

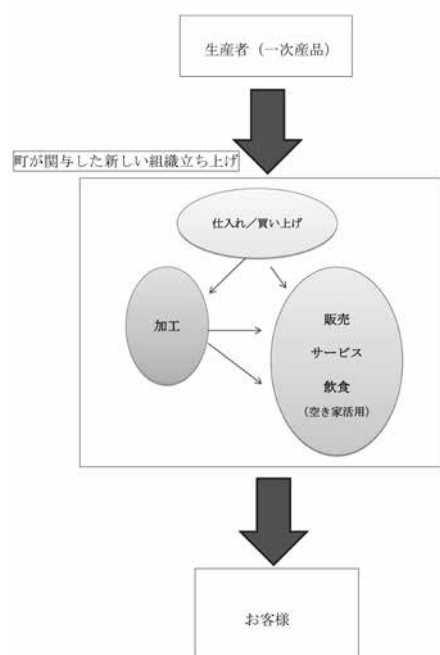
住民から出資を募り、いまの行政のハードルの高さを低くし、運営に参加させられないか。

町長の前向きな答弁を求める。

町が主体となることは
厳しい

町長 町が主体的に商社を立ち上げるといふことは難しい。これはご理解いただけたらと思う。意欲ある取り組みには町は可能な限り協力したい。側面的にその事業を応援したい。

高橋 町が意欲的に取り組む意思は感じ取れる。これは評価したい。もう一歩踏み込めないか。



「究極の町六次産業化策」イメージ図

町民のなかにはキャリアある方々がおられる。その人材を活かせないか。

可能な限り協力する！
町は努力する！

町長 成功している事例をみると行政は人材発掘し、拠点づくりはしているが、主体的にはなっていない。関与は可能な限りするが、厳しいことには変わりはない。町は努力はする。

八手地区ほ場整備完了後の 取り組みについて



安達 一雄 議員

町長

農業機械の共同利用や集落営農

環境を整え効率の良い
米作りに全力で取り組む

安達 八手地区では約30ヘクタールのほ場整備が今年度で完了するが、農作業従事者の高齢化が一段と進んできており、農業を継続していくことが困難となっている状況である。農家数も年々減少して水田を守る事が出来ない今日、本町としても早急な対策を取る必要があると考えるが、どのような対策を考えているか。

町長 環境の整備や基盤整備をしつかりとやって、農業機械の共同利用や集落営農を取り入れる事が大事である。私は中山間地の盤整備の免責条件を引き下げてもらいたく、国や県に強く申し上げている。農家にとつて効率の良い米作りとやりがいのある農業にしたいと考えている。



稲川地区ほ場整備完了

安達 水田の面積が大きくなると大型農機具が必要となるとくる。町長は、わが町は旨い米と質にこだわった米作りに全力を尽くすと言っている。ので、八手地区も生産組合を立ち上げ、米の生産コストを大きく下げ、旨い米作りの為に、行政として支援を要望する。

竹林の活用方法について

町長 前向きに検討する

竹の粉碎機導入を

安達 本町において竹林が毎年増加し冬場の除雪や交通と景観にも支障が出ている。竹林所有者の高齢化で、手入れもできず、増々竹林の荒廃が進み町民の方々も困っているのが現状である。

一つの例を申し上げれば、隣の和島地区では林野庁の多面的補助事業を利用して、竹の粉碎機を

導入している。

本町としても厄介者となっている竹を活用し、山林を保守するべきと思う。町長は具体的対策を、どの様に推進していく考えであるのかを伺う。

町長 私もその対策に大賛成である。竹林の手入れをしなければ荒廃が増すばかりなので今後の課題と考える。厄介者の竹を活用するべく知恵を出し研究しながら前向きに取り組みたい。



杉林の竹林（小木地内）

安達 和島では仲間8名で個人会社を作り竹パウダーを製造して販売している。売上も順調に伸びてきており、地域の経済や農業に貢献したいと言っておられた。当町でも参考として頂きたい。

空き家の貸し出しは



仙海 直樹 議員

町長

意欲のある団体には協力する

仙海 今年3月に町空き家等対策計画が策定された。この計画の中では町全体で空き家が256戸あるとされている。

現在、商工会ではサザエの炊込みご飯の素を販売しているが、サザエを処理する施設がないために、安定供給できないこともある。

商工会員の中には自分たちでサザエを加工し、炊き込みご飯の素を本町の名産品として定着させたいとの機運が高まっているが町所有の空き家を貸すことはできないか伺う。

町長 周囲の方のご理解や衛生面に課題もあるが、全面的に協力する。町の補助金もあるのですが、希望物件があれば活用いただきたい。



出雲崎の名産品に！

サテライトオフィスについて

仙海 町所有の空き家をサテライトオフィスとして活用し、企業等に募集をかけ貸し出す考えはないか。

町長 私も大賛成で積極的に行動していきたい。

意欲のある方であれば可能な限り町としても応援していきたい。

※サテライトオフィス

サテライトオフィスはどちらかと言えば、支社よりも規模の小さいマーケットに構えられている拠点や社員のライフスタイルを守るために設置されたオフィス

不登校対策と子どもたちの学力向上について

教育長

魅力ある学校づくりが大切と考える

仙海 不登校の生徒や保護者への支援として、カウンセラーや相談員を配置しているが、不登校になる前の対策としてどのようなことが行われているか伺う。

教育長 子どもたちにとって、魅力ある学校づくりが大切と考える。子どもたちの居場所づくりや子ども同士の絆づくり、教師と子どもとの信頼関係も大切であり、このことが不登校の未然防止に繋がると考える。

仙海 多世代交流館きらりでは、子どもや保護者の悩みや相談を受ける体制が作られているが、そのことが、子どもや保護者にどのように周知されているか伺う。

町長 町ホームページやパンフレット等で子育て相談等の周知を行っている。

仙海 きらりでもいつでも相談にのってくれるということを広く周知しなければならぬと思うがいかがか。

教育長 不登校になる前に迅速な対応が必要であり、この場所なら子どもが相談に行けるといいう体制を整えておくことが大切と考える。

仙海 児童の学習意欲の向上と、自主学習習慣の定着のために放課後の時間帯を利用して、子どもたちに宿題や復習などの場を提供する考えはないか伺う。

教育長 重要なことと考えるが現在、外国語学習や放課後子ども教室で時間がとれない。しかし、少しの時間でもやれないことはない。保護者の要望があり自主的に行うのであれば、場の提供はほしくない。



佐藤光代さん 島明日香さん 金子俊治さん 遠藤敬子さん

ご参加いただいた第3期議会モニターの皆さん



モニターの皆さんからのご意見

質疑について

行政に対する議員の賛成・反対の意見がはっきり示されている。質疑の中で、町長や執行部側にいつまでに何をするのかを促すところは、あいまいさが残らず良かった。

出まえ議会

順番に各地域を廻るといいのではないかと。予算関係の話をするよりも、困りごとや要望を聞く会にしたなら、より参加者が出てくるのではないかと。開催前に、周知をするべきではないかと。出まえ議会を行っても、若い方の参加者は少ないと思う。イベント等に、議員が入って、話を聞くといいのではないかと。

全員協議会のやり方

(現在全員協議会のその他を無くし、事前通告制のやり方で行う)
質疑討論が中身の濃いものが出てくるので、現在のやり方のほうがいい。突然出てきていきなり言われても、昔の経過とか調べないと分からないものが多いから、どの組織でも事前通告しておいた方が、かえって深みのある内容になると思う。

議員のなり手不足について

なり手不足は全国的な問題である。今後選挙になれば、働いている人は報酬や仕事の問題が出てくる。勤めを辞めても、議員に専念して、生活できる報酬であれば、選挙に出る方もいるのかもしれない。若い方に議会の興味を引くには、議会がサプライズできらりに行って意見を聞いたり、議員が何をしているのか知ってもらう必要がある。議会や議員の活動が分かるので、議会だよりをもう少し見てもらえるように工夫してもらえばいいと思う。

議会の働きかけは？

議会の傍聴や、若い人に議員になってほしいという割に、子どもを連れての傍聴が出来ない環境にある。他県で子どもを連れて、議会を出席した議員もいた。今後子どもを連れてくる場合は、どうするのか本格的な問題になると思う。当町でも検討してほしい。

空席

全員協議会の空席が多いのが残念。定例会と同様に、各クラブに傍聴のお願いをしてはどうか。全員協議会の議題の方が、身近に感じてわかりやすいと思う。

表紙の小話

出雲崎町では、世代間交流のスポーツとしてもゲートボールが行われてきました。天候に関係なく行える、屋内の2面コート有する施設も当町が誇れるものです。

実際にプレーしていると、このコートは、お腹から声を出してお互いに掛け合うには、程よい広さなのかなあと感じます。また、方向や力加減を計算しつくしたのではないかと、思う程、熟練された技術は本場にすばらしいものです。

この時期、「議員チーム」も協会杯・町長杯・議長杯と試合に出場します。やればいいのと言われながら、タイミングが合わず、全く練習できていない私たちですが、運良く勝つこともありませう。これには天の声・時の運、全てを味方につけて：いわば「まぐれ」ということなのでしょう。

人口の減少とともに、チーム数も少なくなり、淋しいのですが、世界大会では、若い世代がはつらつとしたプレーで活躍しています。奥が深く、楽しいものですよ。やってみませんか。

(高桑佳子)

編集後記

6月臨時会に於いて、新しい議会人事が決定いたしました。議会報特別委員会は、全員が再任、さらに定例会で1名の増員が決まりました。

工夫を重ねてきた「議会だより」ですが、たくさんの方の皆さまにご意見をいただき、本当にありがとうございます。ご指摘をいただきましたこと、読みやすくなった等お褒めいただき、ことごとくあって、それが、私どもの大変強い励みになっております。

これからも、議会活動や町政の状況を分かりやすくお伝えすることをモットーに、5名体制でこれからの2年間、頑張りたいと思います。皆さまからいただくご意見も、議会だよりで反映させていきたいと思っております。どうか、これからもよろしくお願いたします。

(高桑佳子)

議会報特別委員会

- 委員長 高桑佳子
- 副委員長 安達一雄
- 委員 中野勝正
- 委員 三輪正
- 委員 小黒博泰